

令和元年度 大塚下団地共栄会役員との意見交換会 実施報告書

- 1 日 時 令和2年2月25日（火）
午後1時30分から3時01分まで
- 2 場 所 愛川町役場4階会議室
- 3 参加者 大塚下団地共栄会役員（5人）
- 4 出席者 議長 馬場 司 副議長 井上博明
委員長 佐藤 りえ 副委員長 玉利 優
委員 阿部 隆之 委員 鈴木 信一
委員 木下 眞樹子 委員 小林 敬子
委員 井出 一己 委員 小島 総一郎

（以上、正副議長、広報広聴常任委員会正副委員長、総務建設常任委員会委員8名）

5 概要説明

- （1）議会の概要説明
- （2）大塚下団地共栄会の概要説明

6 意見交換会

【テーマについて】

- （1）町と大塚下団地の未来に対するビジョンについて
- （2）大塚下地域の防災対策について
- （3）大塚下地域の道路及び交通について
- （4）その他

記録は別紙のとおり

令和元年度 大塚下団地共栄会役員との意見交換会記録

(要点筆記)

(司会：阿部議員)

【主な意見等】

問 駐車禁止や駐停車禁止の道路標識が出ていない道路への路上駐車が多くあり、駐停車禁止道路として整備と取り締まりの強化について、全員が路上駐車してしまうなどの問題があり、警察も含めて、道交法上の駐停車禁止道路としての認定をしなければいけませんが、時間はかかると思います。さまざまな問題がありますが、議会としてどのように考えていられますか。

答 大塚下団地共栄会のこの問題は、町と一緒に解決していかなくてはいけないと感じています。行政として警察や公安委員会にしっかり要望していく必要があります。

問 人手不足を解消する一つの方法として、地元の方の雇用を増やすために新卒を採用する際は、地元の高校に電話で企業の紹介を依頼し、地元との関わりを強めようという活動をしてはいますが、就職するまでには至っていない状況であります。については、地元の雇用を増やすための対策について

答 人手不足という状況があって、就業した人もたくさん町内にいられると思いますので、コミュニティバスの運行なども含めて、提案していければと考えます。

【その他の意見・要望】

- 町が工業専用地区としてつくったにもかかわらず、住宅地と工業団地が混在しています。将来的に工業専用地区として、もっと発展させて、企業を誘致することにより、エリアそのものが変わっていく可能性があるのか考えをお聞きしたい。
- 昔は県道 511 号を路線バスが走っていましたが、今は走っていないこともあり、マイカー通勤がほとんどです。中小零細、小規模などの企業が駐車場スペースを確保することができない状況であり、検討する必要があります。
- コミュニティバスの運行変更の要望を町にお願いしています。大塚下団地エ

リアの中を通るルートに運行することによって、雇用対策や路上駐車対策につながっていくと考えています。

- 防災用のスピーカーが何カ所かに設置されていますが、非常に聞き取りにくいところもあり、十分機能しているとは思えません。実際、情報は、ネットで探したほうが早いです。町が発信するのと同じリアルタイムで、別の部分から情報収集するような時代かもしれません。
- 災害における万一のときは、自助、共助する思いですが、実際に起きた時、中原中学校までどうやって避難するのか疑問もあります。最短の道がない。勿論、小沢の道路がありますが、恐らく渋滞で身動きできなくなることも想定できます。そうなったときに、自分たちの命をどうやって守るのか、自分で守るとは言っても、避難場所まで行くルートが定かでないというのがやっぱり一つの大きな問題であります。

【議会としてのまとめ】

今回の意見交換会では、大塚下団地共栄会が抱える問題を一つ一つ整理し、議会としては、具体的にどういうふうにしていくべきか、議会と行政とが一緒にこれから議論していかななくてはいけないと感じています。

また、一般質問等を通して、大塚下地域の在り方について、いろいろと主張していきたいと思います。

